



武陽 月報

武陽食品株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル
Tel 03-3211-4831 Fax 03-3211-6004



節分とは邪鬼を払い無病息災を願う行事～2月3日(木曜日)

2022年(令和4年)の節分は2月3日(木)です。昨年は37年振りに2月2日にズレたことをお伝えしました。節分は季節の境目であり、翌日が「立春」となります。季節の変わり目には邪鬼が入り込むことから、豆まきが行われます。



正しい豆まきについて

- ①炒り豆を柀に入れ、神棚にあげておきます。神棚がないご家庭では、目線より高い位置に白い紙を敷き、その上に柀をおいておきます。
- ②鬼滅の刃と同様、鬼は夜やってきます。豆まきは夜にしましょう。(本来は丑寅の時刻といえますから、真夜中の1時頃になりますが、ご近所迷惑になりますのでやめましょう)
- ③左手に柀を持ち、右手 下手投げで投げます。(ワンドアップでう投げするのはやめましょう 危険です。)
- ④玄関・勝手口・窓を開け放ち「鬼は外」の掛け声とともに豆を投げます。(鬼を締め出したら、戸締りを忘れずに。)
- ⑤「福は内」の掛け声と部屋の中に向かって投げます。(まき過ぎは怒られます 年末まで発見されないことも…)
- ⑥1年の厄除けを願いつつ、自分の年齢+1個の豆を食べましょう。



私は単身赴任の父の代わりに祖父と一緒に豆まきをしてくれました。折り紙の柀に72個の豆を入れ渡しましたが、「食べていいぞ」と言われ、夢中で食べました。あの頃あんなに美味しいと思っていた炒り豆が、最近では「まずい」とさえ感じています。理由がわかりました、やはり美味しい豆は当社から。邪鬼を払い、素晴らしい1年にしましょう。

選択肢の7+ ～ 品揃え過多 → 買うたびに後悔

2014年バカリズムさん脚本「素敵な*選タクシー」というドラマをご存じでしょうか。進学であったり、結婚であったり、人生の様々な場面で現れる「選択」を、タクシー型タイムマシンでタイムスリップしてやり直すというドラマです。先月、「選択する」ということについての新聞記事を見つけたのでご紹介させていただきます。

スーパーマーケットに行くと多すぎる品揃え(選択肢)に戸惑いを感じませんか。値段が高い方がおいしいのではないかと。PB商品は一流メーカーが安価で販売できるように工夫しているから得なのでは。浜辺美波ちゃんが宣伝しているから。などなど品物選びに時間がかかるという経験はないでしょうか。品揃え(選択肢)の強化は顧客満足度を向上させるものですが、いつの間にか我々は、品揃えに圧倒されているのではないのでしょうか？

コロンビア大学のシーナ博士が書いた「選択の科学」の中に興味深い実験がありました。6種類のジャムの試食コーナーでは3割のお客さんが購入に至り、24種類のジャムでは3%しか購入に至らなかったという。品揃え(選択肢)が多すぎるのもダメ、「選択のオーバーロード現象」(情報過多が負担となり、決断が乱れる現象)が起き、買うたびに後悔するそうです。現代では、選ばれなかったモノは食品ロスになることも考慮しなければなりません。選択肢を絞り込んだり、知識ある店員のアドバイスを加えてみたり、ランキング化して見せるなど、お客さんの意思決定を後押しするような情報提供や工夫が必要となります。

選択するというのは動物の本能で、元気に快活に生きるために欠かせないものです。しかし、個人主義のアメリカと集団主義の日本では、選択することについて違いがあり、日本人は自己選択することと、そうでないことが半々ぐらいがちょうどよく、自分で決定しているという感覚を持っている程度が良いとされ、選択肢が多いことは必ずしもお客さんのためになっていないのです。



「素敵な*選タクシー」では、何度選択し直してもうまいかず、素直に自分の言葉で親や友人に伝えることで、愛情がすべてを包み込みハッピーエンドとなります。有り余るほどの選択肢は必要ないけれど、お客さんに寄り添い、コミュニケーションをしながら、愛情を持って商品を作り販売していく。そのような世界観が我々日本人には合っているのではないのでしょうか。

シカゴ大豆相場の動向について～日経新聞引用

2月2日 **1.5%**/15.28ドルと再度高値に動いています。

大豆の生産地の生育状況・収穫状況については、米国で豊作であったが、ブラジル南部での干ばつのニュースがあり、

値を上げている状況。

また世界最大の需要国である中国における養豚需要拡大から、配合飼料としての需要は高く、引続き高値圏での取引が予想されます。

エネルギー利用としても、これまでトウモロコシを主原料としてきたバイオエタノールは、大豆からの搾油も開始される公算にあり、搾油工場プロジェクトも始動、いずれ大豆不足が懸念されます。



令和4年産国産大豆の第2回入札結果

昨年には上場されていた福岡・佐賀・熊本などの九州の銘柄について、梅雨どきの台風の影響から上場がありませんでした。一方、東北地方の収穫は相応に確保されており、特に北海道や宮城県など豊作とのニュースがあり、昨年と比較し価格面は例年並みで推移しております。(ほぼ一昨年ベースと同程度～平均落札価格で+78円)

当初の予想に反し、大幅な価格下落に至らないのは、九州方面での異常気象が影響しているものと思われます。依然高値圏の海外大豆のあおりを受けることも懸念され、来月以降本格化する入札状況に注目が集まります。



区分	上場数	落札率	平均価格	前年同月比	前月比
普通大豆	3,307 トン	77.2%	9,987 円	△1,296 円	+244 円
特定加工用	1,118 トン	87.6%	9,450 円	△550 円	△356 円
合計	4,425 トン	79.8%	9,838 円	△1,189 円	+82 円

【過去3年の第2回上場数量の推移】

区分	今回	2021/1月	2020/1月	2019/1月
普通大豆	3,307 トン	3,067 トン	3,703 トン	4,672 トン
特定加工用	1,118 トン	723 トン	1,307 トン	1,225 トン
合計	4,425 トン	3,789 トン	5,011 トン	5,897 トン

【銘柄別落札価格】

産地	粒別	品種銘柄	今回(2022/1月)	前年(2021/1月)	増減	落札率
北海道	大粒	とよまさり	10,558 円	11,314 円	△756 円	97.6%
青森	大粒	おおすず	10,651 円	11,163 円	△512 円	100%
秋田	中粒	リュウホウ	9,520 円	11,065 円	△1,545 円	100%
山形	大粒	里のほほえみ	10,348 円	11,288 円	△940 円	100%

北海道産 小粒 ユキシズカは9,240 俵の上場に対し、落札は330 俵 落札率 3.5%

主に納豆に利用される小粒の銘柄は市中でのダブつきもみられ、引続き低位な落札状況となりました。

次回入札は2月16日(水)の予定です。

□ 本社	03-3211-4831	□ 飼料部宮城営業所	0229-25-8680
□ 東北第一営業所	0229-54-1151	□ 飼料部福島営業所	0243-24-1240
□ 山形出張所	0234-21-9144	□ 大豆選別・挽割加工工場(宮城県美里町)	
□ 東北第二営業所	0243-24-5818	□ 大豆保管定温倉庫(宮城大崎市・福島二本松市)	